

# 古代衣装400人行列

華やかな衣装を身にまとい、練り歩く女性ら（奈良市の平城宮跡で）



## 東北支援 中等教育学校生ら物産販売

奈良市の平城宮跡で3

らせた。

大和高田市の大学職員横沢光代さん(46)は「行列や儀式を見ていると奈良の歴史の重みを感じます」と感心していた。

同祭ではこのほか、東日本大震災の被災地支援活動も一昨年、昨年に引き続き

て実施。今年は、ずらりと並ぶ飲食・物販のブースに、被災地で支援活動を続

ける盛岡市の「いわて三陸復興食堂」が出店。奈良女子大付属中等教育学校（奈良市）の生徒ら約20人が岩手県産のタコのから揚げなどを販売しながら、パネルで被災地の現状を伝えた。同校6年の吉岡采音さん(17)は「奈良から被災地にできることを考えてもらう機会になれば」と話していた。

日、奈良時代の行事を再現する「平城京天平祭」が始まった。初日は、華やかな古代衣装をまとった男女約400人が行列を組んで練り歩き、約1万6000人でにぎわった。同祭は5日まで。

行列は、奈良文化財研究所（奈良市）などの時代考証により再現。奈良時代に即位した歴代の天皇や貴族らにふんじた男女が、朝堂院跡から大極殿まで約600

0歩をゆっくりと歩いた。その後、大極殿前庭に整列し、平城京に都が移された時の遷都の詔の儀式を披露。来場者を含めた全員で詔を唱え、当時に思いを巡



タコのから揚げを売る奈良女子大付属中等教育学校の生徒ら（奈良市の平城宮跡で）